



ひがしそのき

東曾野木小学校

学校だより

令和5年10月4日

教育目標

つよく

かしこく

あたたかく



令和5年度 学校評価中間報告

日頃より当校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

今年度も、保護者の皆様、地域の皆様のご協力により無事に折り返しを迎えることができました。

さて、当校は、「進んで学び学力を伸ばす子」「思いやりの心をもってかかわる子」「ひとりひとりに合った学びの実現」の3つを重点目標として教育活動に取り組んでまいりました。前期終了及び後期開始を機にこれまでの取組を振り返った学校評価の中間報告をお知らせいたします。



① 令和5年度の学校評価報告（前期）

	評 価 項 目	評 価	
進んで 学び学 力を伸 ばす子	① 職員アンケート「児童がかかわり合ったり、表現したりする場面でICTを活用した授業を実施したか。」で、90%以上が肯定的な自己評価をする。 A 90%以上 B 70～90%未満 C Bに至らない	A	100%
	② 児童アンケート「ICTを活用し、友達とかかわったり、考えや思いを表現したりすることができましたか。」で、85%以上が肯定的な自己評価をする。 A 85%以上 B 70～85%未満 C Bに至らない	A	89.3%
思いや りの心 をもっ てかか わる子	① 児童アンケート「相手を思いやり、言葉を選んで話すことができる」で、85%以上が肯定的な自己評価をする。 A 85%以上 B 70～85%未満 C Bに至らない	A	88.0%
	② 児童アンケート「自分にはよいところがある。」で、85%以上が肯定的な自己評価をする。 A 85%以上 B 70～85%未満 C Bに至らない	B	79.0%
ひとり ひと りに合 った学 びの 実現	① 職員アンケート「個別の教育支援計画と個別の指導計画を、児童の支援に活かすことができた。」で、85%以上が肯定的な自己評価をする。 A 85%以上 B 70～85%未満 C Bに至らない	A	100%
	② 保護者アンケート「学校は子どもが安心して学ぶ環境を整えている。」で、肯定的な評価が85%以上となる。 A 85%以上 B 70～85%未満 C Bに至らない	A	97.3%
心身と もに健 康な体 をつく る子	① 児童アンケート「体育の授業で力が伸びたと感じる。」の質問項目で、子どもの肯定的な評価が85%以上となる。 A 85%以上 B 70～85%未満 C Bに至らない	A	88.0%
	② 体育に関する行事後のふりかえりアンケートで、自分の目標を達成できた子どもが85%以上になる。 A 85%以上 B 70～85%未満 C Bに至らない	A	87.0%

◎ 各評価項目（目標）に対しての達成度は上記のとおりです。A 評価の項目は、さらに高めるために方策を立てます。B 評価の項目は、その要因を明確にし改善策を立てます。後期では、さらに向上するため、職員一丸となって取り組んでまいります。

② 具体的な改善策

○＝評価項目の分析 ◇＝今後の向けての改善策

進んで 学び学 力を伸 ばす子	○ すべての学級において、さまざまな教科で ICT を取り入れた学習に取り組んでいる。児童が思いや考えを表現したり、関わらせたりする場面で ICT を活用し、効果を上げている。 ◇ 児童が自分の思いや考えを表現したり、かかわらせたりする場面において、ICT を取り入れることができている。今後はさらに児童の肯定的評価につながるよう、かかわり合いや思いの表出につながる日々の言葉の指示を大切にしながら、研究授業の実践を通して研修を深めていく。前期は各自が、ICT を思いや考えの表現やかかわり合いの場面で活用する方法を模索し実践を進めた。前期の取組を生かして、後期は全担任が研究授業を行う予定である。
思いや りの心 をもっ てかか わる子	① 各学級で「言葉の選び方」について、その都度指導を行うことで、児童の言葉に対する意識が高めるべく取り組んでいる。言葉を大事にする意識を日常的にもたせ、円滑なコミュニケーションを図っていく。 ② 自分にはよいところがあるの自己評価が79%であった。自分のよさに気付いていなかったり、自信をもてなかったりしている児童がいることがうかがえる。「できた」「認められた」「楽しかった」等の経験の積み重ねを通して自分に自信をもたせていく。 ◇ 後期は、日常の活動の充実はもちろん、こなんこ遠足やこなんこ祭りなど、一人一人が活躍できる行事も多く予定されている。言葉を大切にしながら友達とかかわり、成就感や満足感を味わい、自分のよさを実感できる場を作っていきたい。また、ほめ言葉のシャワーやふわふわカードなどの活動を通して、他者から認められ、自分のよさを自覚できる場を作り、子ども達の自己肯定感の向上に努めていく。他にも、学年の発達段階に応じたソーシャルスキルトレーニングで、児童の「言葉選びの力」「かかわる力」をさらに高めていきたい。
ひとり ひとりに 合った 学びの 実現	① 個別の教育支援計画を作成し、教職員で協力しながら子どもたちに支援を行っている。今後も、一人一人の思いや困り感に寄り添い、保護者様と連携を取りながら支援していく。 ② 保護者アンケートでの肯定的評価が97.3%であった。後期は、さらに一人一人の子どもの教育的ニーズを捉え支援していく。 ◇ 支援の必要な子どもへの対応を担当だけでなく全校体制に広げ、どの子どもにも寄り添っていくことで、一人一人に合った学びにつなげていきたい。
心身と もに健 康な体 をつく る子	① 子どもたちが楽しみながら進んで体育授業に取り組み、全ての子どもが自分から体を動かすことに、抵抗なく親しめるよう、体育授業の改善に取り組んでいく。 ◇ 学年別に毎日休み時間に体育館を使える時間を設定し、運動する時間や場の確保に努めています。後期も子どもたちが楽しみながら運動に取り組み、体力を向上させていけるよう進めていきたい。

その他 児童アンケートの結果より *肯定的評価の割合

質問項目	R 5 前期
本を読むことは好きですか	85.0%
学習や生活のめあてをもって毎日過ごしています	77.0%
やっていることを先生や友達に認められてうれしいと感じるときがよくあります	89.0%
自分から友達を助けたり、励ましたりしています	89.0%
授業で学んだことを振り返ることができています	79.0%



◎ 前期学校評価の詳細なデータ（児童アンケート及び保護者アンケートの集計）は、東曾野木小学校のホームページに掲載する予定です。あわせてご覧ください。

東曾野木小学校ホームページ

<http://www.higashisonoki-e.city-niigata.ed.jp/>

※ 裏面に、保護者アンケートのご意見一覧を掲載いたしました。アンケートへのご協力ありがとうございました。

